

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：都市計画課

担当課長名：脇谷 浩一

公園名	南部健康運動公園	種別	運動公園	全体計画面積	70.0ha		
事業の概要							
南部健康運動公園は、県南地域の活性化に加え、子供からお年寄りまでが、スポーツ・レクリエーションに親しみながら、気軽に健康づくりができることを目的として整備を進めている。 平成19年度に野球場の供用以降、多目的広場やテニスコート、陸上競技場などの施設を順次供用してきた。今後、未整備施設を含め、更なる防災機能強化のための施設整備を行いたい。							
事業採択年度	平成12年度	都市計画決定（変更）年度	平成11年度（H12.3.31）				
用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成12年度				
1. 事業の必要性等							
1)	利用圏域内の市街化状況、人口推移、社会経済情勢の特段の変化				有	無	
事業を巡る	公園計画区域及び周辺の自然的環境の特段の変化				有	無	
	重大な影響のある上位計画の変更				有	無	
	重大な影響のある周辺の類似施設の整備状況の変化				有	無	
社会経済情勢等の変化	重大な影響のある関連する他事業等の進捗状況の変化				有	無	
	内容						
—							
2)	費用対効果分析結果					B / C	(1.90)
事業の投資効果	総便益（B）					(616.0)	億円
	便益の内訳					直接利用価値	(351.1) 億円
						間接利用価値（環境）	(109.9) 億円
						間接利用価値（防災）	(155.0) 億円
	総費用（C）					(323.7)	億円
感度分析結果							
						B / C	B / C
公園利用者数及び世帯数						+10% (1.95)	−10% (1.86)
残事業費						+10% (1.90)	−10% (1.91)
残事業期間						+10% (1.90)	−10% (1.90)
(参考) 残事業の投資効率性							
継続した場合の便益 616.0 億円 − 中止した場合の便益 598.4 億円							
継続した場合の費用 323.7 億円 − 中止した場合の費用 309.9 億円						= 1.28	
※1 「中止した場合の便益」では供用済施設により発生している便益の現在価値を計上							
※2 「中止した場合の費用」では既投資費用＋環境保全・安全確保・維持管理に今後必要な費用を加えて、現在価値化した費用を計上							
※3 残事業費で令和9年度までに未整備施設を完成させる場合の値。							
関係する地方公共団体等の意見							
近年、競技団体等からの要望は無し。							
3)	計画全体事業費（うち用地費）	125.0 億円 31.6 億円	投資事業費（うち用地費）	122 億円（進捗率 97.6 %） 31.6 億円（進捗率 100.0 %）			
事業の進捗状況	用地確保済面積	70.0 ha (用地確保率100%)	既供用区域面積	23.8 ha (供用面積率34%)	供用開始年度	H19	
	未供用の場合、その理由						
—							
2. 事業の進捗の見込み							
今後の事業の進捗の予定、目処、及び進捗の見直し							
改めて発災時に求められる当公園の機能など防災・復興ニーズの調査、研究を行う。また、未整備施設については、関係市町・関係団体との連携の下、施設の必要性（内容・配置・規模）を改めて調査、研究する。							
3. コスト縮減や代替案立案等の可能性							
コスト縮減の検討・実施状況	施工時において、再生建設資材の活用や建設発生土の再利用に取り組んでいる。 また、維持管理時に発生する剪定枝等の堆肥化を積極的に行い、リサイクルを推進する。						
代替案の検討状況	—						